

崇城大学（熊本市西

区）は、天草産「モリン

ガ」を活用した機能性表

示食品を産学官連携で開

発し、10月から販売す

る。これは、同大と天草

モリンガファーム、熊本

県産業技術センターによ

る共同研究の成果で、栄

養価が非常に高いことで

知られるモリンガを主原

料とした機能性表示食品

崇城大学の産学官連携

機能性表示食品販売

天草モリンガを活用

の販売は全国で初めてと

なる。北インドやパキスタン

原産のモリンガは、古来

より栄養価の高さで知ら

れ、近年はスーパーフー

ドとして注目を集めてい

る。その葉には90種類以

上の食品成分が含まれて

おり、2007年には国

連世界食糧計画に採用さ

れるなど、食糧が十分に

確保できない地域の栄養

源としても活用されてい

る。崇城大学の西園研究室

（応用微生物工学科）

は、モリンガの健康機能

性解析と有効成分の同定

を進め、GABAがもつ

精神的ストレスの緩和機

能と高めの血圧を下げる

機能に注目。天草モリン

ガファーム、熊本県産業

技術センターとの産・

また、中小企業が商品

開発、特に機能性表示食

品の開発をするには、届

出書類の作成や機能性評

価等のハードルが高いた

め、崇城大学が拠点とな

り、そのサポートをする

ことを図っていく。熊本

の農産品の活用を推進す

ること、地域産業への

貢献や人々の健康への寄

与を目指す。